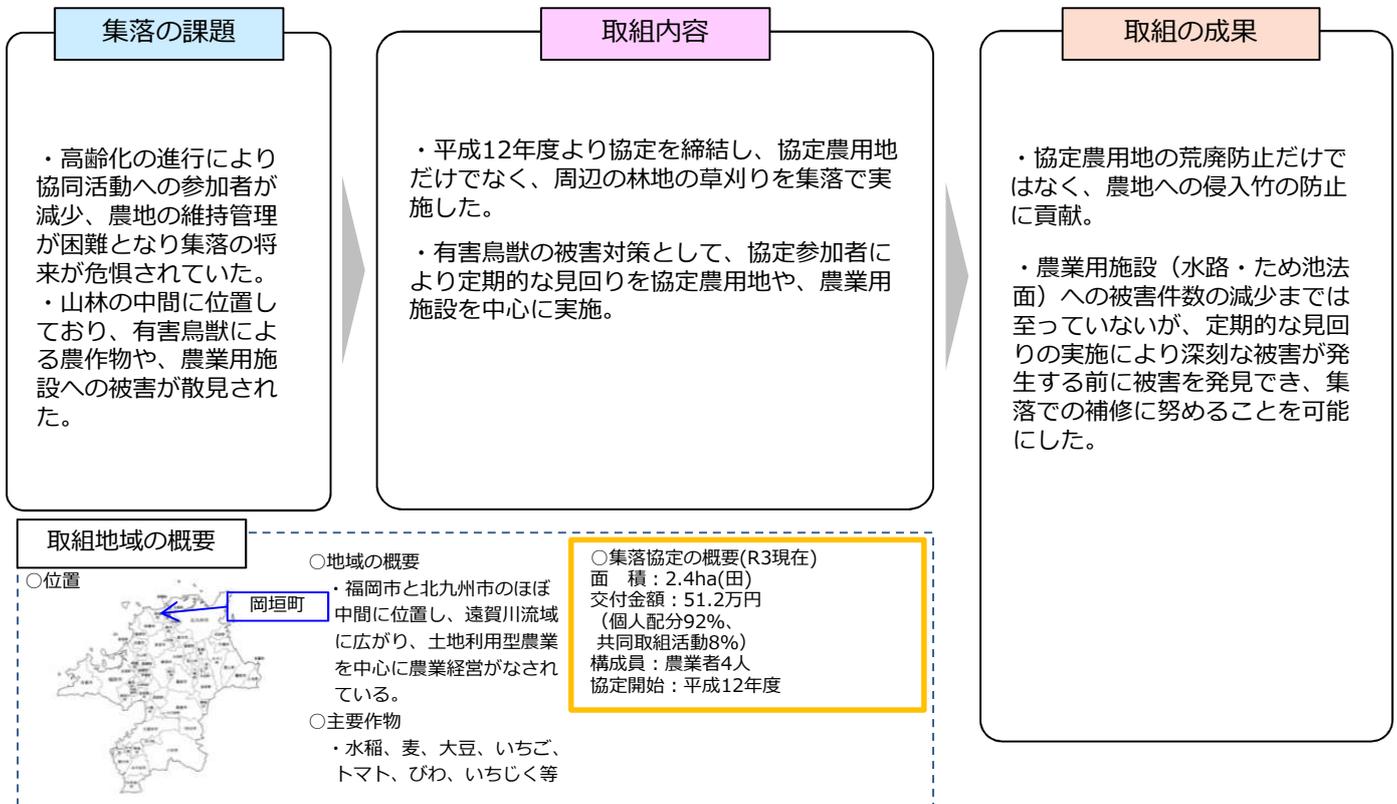


後継者不足の解消のために、集落全体で維持・管理に努める。

- 協定農用地と併せて周辺の林地での草刈りを実施し、侵入竹の防止に効果を発揮。
- 協定参加者による見回りにより、農業用施設への有害鳥獣の被害を抑制。



## 1 集落の概要

### 兼業農家や退職後の農業者で地域の農地を守る

——集落の特徴を教えてください。

上高倉地域は福岡県岡垣町の南西部、宗像市との境界である地蔵峠のふもとに位置する集落です。岡垣町の中心部である海老津駅からは車で10分ほどで、公共交通機関でのアクセスはあまり良くありません。集落の戸数は約70戸で、そのうち農家は約10戸です。農家のほとんどは、兼業農家や退職後に家の農地を守るために農業を始めた人たちですが、平成12年から中山間直接支払制度を活用し、地域ぐるみで農地の保全に取り組んでいます。

## 2 集落の抱える課題

### 住人は減少、わずかな専業農業者、担い手不足による後継者問題

——集落ではどのような課題がありましたか。

上高倉地区は町の中心部からのアクセスが悪いこともあり、年々居住者が減少しています。農家数も同様ですし、専業農家もわずかであることから、地域の担い手がおらず、後継者問題に直面していました。

### 3 取組の経緯

#### 後継者問題解消のため、集落で農環境の維持を計画

—取組を開始したきっかけは何ですか。

後継者の不在のために、農地を含めた集落の農環境の維持が大きな課題となっていました。そのようななか、平成11年に当時の役場の職員から、中山間地域等直接支払制度を活用しないかと提案がありました。後継者の確保のために地域の農環境を維持するためにも集落で話し合い、取り組むことにしました。

### 4 取組の内容

#### 協定参加者による精力的な活動の継続

—どのような取組を実施してきましたか。

協定農用地や農業用施設の見回りや、協定農用地の周辺の林地の草刈りに協定参加者で一体となり実施してきました。

### 5 取組の成果

#### 後継者候補が現れ、今後の集落の未来が見えてきた

—取組を通じてどのような効果がみられましたか。

協定農用地への荒廃防止だけではなく、農地への侵入竹の防止、被害の甚大化の防止につながり限りある農地を維持できています。後継者の確保はまだまだ十分とは言えませんが、最近では周辺の集落から非農家出身の方が農業をしたいと名乗り出てきてくれました。今後も若い世代に有限な農地をつないでいけるよう、維持・管理に努めます。

### 6 人材、資源、制度の活用方法、工夫

#### 中山間直接支払制度により集落内での協議が加速

—中山間直接支払制度はどのように活用しましたか。

川土手の浚渫や里道の草刈りといった共同作業や、集落内での話し合いに活用しました。特に集落内での話し合いは、交付金をいただいていることもあり、今後の集落の姿について協定参加者で協議することができました。交付金が無ければこういった機会も減少の一途であったと思いますし、非常に良い機会でした。

### 7 苦労した点、克服方法

#### 集落協定内で意識を統一し、取組はスムーズに

—取組を実施するうえで苦労したことはありますか。

日頃から集落協定内意見交換を行い、集落で一丸となって取り組んでいたのが合意形成や戦略会議等も特に苦労することはありませんでした。集落協定内で協定参加者個人が活動を各自で責任をもって取り組んでいたことも大きな要因だと思います。

### 8 集落の今後、他の地域に伝えたいこと

#### 未来の後継者へ農地をつなぐためにも継続した取組を

—集落の今後の課題・目標を教えてください。

後継者候補は出てきましたが、まだ作付面積はあまり広くはないです。今後の上高倉地の農業を担う未来の後継者のためにも引き続き、農地や農業用施設の維持・管理に取り組めます。後継者候補が集落の担い手となるころには今よりも整った農環境を残すことが今後の課題であり目標です。